

2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年8月10日

上場取引所 東

上場会社名 日本特殊塗料株式会社

コード番号 4619

URL <https://www.nttoryo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 遠田 比呂志

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員業務本部  
財務部長兼総務部長

(氏名) 力武 洋介 (TEL) 03-3913-6134

四半期報告書提出予定日 2022年8月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	13,262	6.1	41	△65.3	799	44.0	338	31.2
2022年3月期第1四半期	12,501	51.6	120	—	555	—	257	—

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 1,343百万円(△14.7%) 2022年3月期第1四半期 1,575百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	15.58	—
2022年3月期第1四半期	11.88	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	79,553	50,218	56.1
2022年3月期	79,792	49,725	55.5

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 44,612百万円 2022年3月期 44,266百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	18.00	—	22.00	40.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	20.00	—	22.00	42.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	28,500	13.6	350	146.8	1,250	60.5	750	535.1	34.53
通期	60,500	10.4	2,450	65.3	4,000	52.4	2,700	107.6	124.31

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社(社名) — 、除外 一社(社名) —
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期1Q	23,611,200株	2022年3月期	23,611,200株
② 期末自己株式数	2023年3月期1Q	1,891,804株	2022年3月期	1,891,100株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期1Q	21,719,739株	2022年3月期1Q	21,705,063株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大防止策の進展により、経済活動正常化に向けた動きが見られましたが、ウクライナ情勢や中国における経済活動抑制等を背景とした原材料・エネルギー価格の高騰、サプライチェーンの停滞に加え、急激な円安の進行等により、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループは、徹底した感染症拡大防止策を講じながら、中期経営計画の基本戦略に掲げる収益基盤の強化、新技術・新製品開発、サステナビリティ経営の推進等に注力してまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は、主に塗料関連事業の増収により132億6千2百万円（前年同期比6.1%増）となりました。

損益面につきましては、一部製品の販売価格見直しとともに、継続的な原価低減活動・経費低減策を推進した一方、原材料価格高騰等の影響を受け、営業利益は4千1百万円（前年同期比65.3%減）となりました。経常利益は、持分法による投資利益や為替変動の影響等により7億9千9百万円（前年同期比44.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は3億3千8百万円（前年同期比31.2%増）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりです。

#### [ 塗料関連事業 ]

国内需要は回復傾向にあることから、主力製品の防水材を中心に建築・構造物用塗料の販売は堅調に推移いたしました。特に、集合住宅大規模改修工事等の工事関連売上は前年同期比43.8%増となり、増収に大きく貢献いたしました。一方、建築・構造物用塗料等の一部製品で販売価格見直しを進めているものの、原材料価格の高騰が損益面に大きく影響いたしました。

この結果、当セグメントの売上高は48億4千9百万円（前年同期比21.3%増）、セグメント損失は5百万円（前年同期はセグメント損失6百万円）となりました。

#### [ 自動車製品関連事業 ]

世界的な半導体不足や中国上海におけるロックダウン等によるサプライチェーンの停滞を受け、主要顧客である自動車メーカーの生産台数が減少しており、主に国内で当社製品の受注が低水準にとどまりました。また、売上高減少に加え、当セグメントにおきましても、原材料価格の高騰が損益面に影響いたしました。

この結果、当セグメントの売上高は84億9百万円（前年同期比1.1%減）、セグメント利益は4千5百万円（前年同期比63.6%減）となりました。

#### [ その他 ]

保険代理業の売上高は3百万円（前年同期比13.9%減）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ2億3千8百万円減少し、795億5千3百万円となりました。主な要因は、現金及び預金の減少8億6千7百万円、投資その他の資産の増加5億7千6百万円によるものです。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ7億3千1百万円減少し、293億3千5百万円となりました。主な要因は、電子記録債務の減少2億8千3百万円、未払法人税等の減少3億2千4百万円によるものです。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ4億9千2百万円増加し、502億1千8百万円となりました。主な要因は、利益剰余金の減少1億4千1百万円、その他有価証券評価差額金の減少4億4千7百万円、為替換算調整勘定の増加9億3千6百万円によるものです。この結果、自己資本比率は0.6%増加し56.1%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期第2四半期累計期間の連結業績予想につきましては、売上高は、主に自動車製品関連事業において新型コロナウイルス感染症の拡大に端を発したサプライチェーンの混乱等により、自動車生産台数が当初計画を下回ったこと等を受け、前回予想を下回る見込みとなりました。損益面では、原材料価格の高騰に加え、持分法投資利益や為替の変動等の影響を踏まえ、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益ともに、同じく前回予想を下回る見込みとなりました。

また、2023年3月期通期の連結業績予想につきましても、第2四半期累計期間の業績予想、今後の事業環境の変化等を踏まえ、以下のとおり、2022年5月11日に公表しました業績予想を修正いたします。

なお、この業績予想は、当社が現時点で入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の根拠に基づいており、実際の業績等は今後様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## 〔第2四半期累計期間の連結業績予想〕

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	28,600	850	1,800	1,000	46.05
今回修正予想 (B)	28,500	350	1,250	750	34.53
増減額 (B - A)	△100	△500	△550	△250	
増減率 (%)	△0.3	△58.8	△30.6	△25.0	
(ご参考)前期第2四半期実績 (2022年3月期第2四半期)	25,085	141	778	118	5.44

## 〔通期の連結業績予想〕

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	61,000	3,000	4,800	3,200	147.36
今回修正予想 (B)	60,500	2,450	4,000	2,700	124.31
増減額 (B - A)	△500	△550	△800	△500	
増減率 (%)	△0.8	△18.3	△16.7	△15.6	
(ご参考)前期実績 (2022年3月期)	54,779	1,482	2,625	1,300	59.90

## 〔通期のセグメント別業績予想〕

	売上高	セグメント利益
	百万円	百万円
塗料関連事業	18,800	200
自動車製品関連事業	41,700	2,250

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	8,948	8,081
受取手形、売掛金及び契約資産	13,802	13,317
電子記録債権	2,987	2,885
商品及び製品	1,824	1,968
仕掛品	1,409	1,462
原材料及び貯蔵品	1,431	1,489
未収還付法人税等	—	201
その他	1,456	1,588
貸倒引当金	△3	△3
流動資産合計	31,857	30,991
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	10,028	10,055
機械装置及び運搬具（純額）	8,481	8,229
土地	4,703	4,701
建設仮勘定	483	673
その他（純額）	1,374	1,417
有形固定資産合計	25,071	25,076
無形固定資産		
その他	1,265	1,312
無形固定資産合計	1,265	1,312
投資その他の資産		
投資有価証券	18,255	18,329
長期貸付金	1,504	1,661
繰延税金資産	99	104
その他	1,793	2,136
貸倒引当金	△55	△57
投資その他の資産合計	21,597	22,174
固定資産合計	47,934	48,562
資産合計	79,792	79,553

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,649	8,564
電子記録債務	3,376	3,093
短期借入金	5,617	6,296
リース債務	6	7
未払法人税等	601	277
役員賞与引当金	72	—
その他	3,949	3,682
流動負債合計	22,273	21,922
固定負債		
長期借入金	3,209	2,880
リース債務	17	19
退職給付に係る負債	3,313	3,282
繰延税金負債	1,147	1,114
その他	105	116
固定負債合計	7,792	7,413
負債合計	30,066	29,335
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,753	4,753
資本剰余金	4,194	4,199
利益剰余金	30,547	30,406
自己株式	△1,112	△1,112
株主資本合計	38,383	38,246
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,989	4,542
為替換算調整勘定	702	1,638
退職給付に係る調整累計額	191	184
その他の包括利益累計額合計	5,883	6,365
非支配株主持分	5,458	5,605
純資産合計	49,725	50,218
負債純資産合計	79,792	79,553

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)
売上高	12,501	13,262
売上原価	10,167	10,898
売上総利益	2,334	2,363
販売費及び一般管理費	2,214	2,321
営業利益	120	41
営業外収益		
受取配当金	79	102
持分法による投資利益	276	415
雇用調整助成金	5	10
為替差益	18	194
その他	76	60
営業外収益合計	456	783
営業外費用		
支払利息	18	12
その他	2	13
営業外費用合計	21	25
経常利益	555	799
特別利益		
固定資産売却益	0	20
受取保険金	0	—
投資有価証券売却益	117	—
特別利益合計	118	20
特別損失		
固定資産処分損	17	1
特別損失合計	17	1
税金等調整前四半期純利益	656	818
法人税等	242	227
四半期純利益	414	590
非支配株主に帰属する四半期純利益	156	252
親会社株主に帰属する四半期純利益	257	338

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益	414	590
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	185	△445
為替換算調整勘定	372	568
退職給付に係る調整額	8	△7
持分法適用会社に対する持分相当額	595	636
その他の包括利益合計	1,161	752
四半期包括利益	1,575	1,343
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,234	820
非支配株主に係る四半期包括利益	341	523

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等)

前第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	塗料関連	自動車 製品関連	計				
売上高							
外部顧客への売上高	3,998	8,499	12,498	3	12,501	—	12,501
セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	—	0	—	0	△0	—
計	3,999	8,499	12,498	3	12,502	△0	12,501
セグメント利益又は損失(△)	△6	124	118	1	120	—	120

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理業であります。

2 調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	塗料関連	自動車 製品関連	計				
売上高							
外部顧客への売上高	4,849	8,409	13,259	3	13,262	—	13,262
セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	—	0	—	0	△0	—
計	4,850	8,409	13,259	3	13,263	△0	13,262
セグメント利益又は損失(△)	△5	45	40	1	41	—	41

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理業であります。

2 調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。